事例 No.15

タイトル：サーベイの集団分析の結果を踏まえ、Web ツールを活用し、業務効率化とコミュニケーション活発化を実現した事例

投稿者：富士通 Japan 株式会社　駒瀬優

活動の良い点 　部門長がアクションを取りやすいように事前に人事部主導でマニュアルが作成されかつ周知されていた点が本事例成功のポイントだと思います。アクションに向けてハードルを下げることに成功し、結果として専門スタッフ不在であっても取り組みが進んだ様子です。
他事業所で活用できる点 　改善のアクションが複数提案された場合に、特にポジティブなリアクションの多かったアクションを採用するという方法は、全員参加型の場合に部門員が納得感をもって活動にあたれるため重要でしょう。
今後の期待 　３つのアクションを決定し、改善活動が行われてきたプロセスを詳細に分析評価しています。次年度のエンゲージメント調査の結果でアウトカムも評価可能となることに期待しています。部門員か活動に対する振り返りをフィードバックしていただき、PDCA で改善活動のさらなる活性化につなげていただければと思います。
その他 　アクション①では朝会を取り入れ、かつ業務管理ツールを活用したとのこと。進捗が可視化されたことによりタスクの依頼や巻取りが生じて業務負荷が分散された、とのこと。これがうまくいく背景には、同時に進行していた他のアクションによる部門内のコミュニケーションの活性化も寄与したように思います。